

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 若草つどいセンター駐車場等整備及び避難通路改修事業	
区分	番号	名称	
章	9		
節	9		
施策	9		
小分類	9		
主要な施策	9		
事務事業番号	288	事務事業コード	99999288
		事業開始年度	平成 2 2 年度
		事業終了年度	平成 2 2 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名 若草つどいセンター駐車場及び避難通路改修事業
部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 誰もが安心して利用できる環境づくり。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 若草つどいセンターの駐車場及び建物周囲の道路補修 主な工事 ・未舗装・凹凸部分の補修(舗装) ・障害者用 車停車箇所の障害者マークの印字 ・駐輪場車止めの増設
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 駐車場内の段差がなくなった。歩きやすくなった。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移		区分	単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	改修により改善された箇所	箇所	目標値	5	0	0	0	0	
			実績値	5					
			目標値						
			実績値						

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	1,418	0	0	0	0	0
合 計			1,418	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	266	273			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		266	273			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 若草つどいセンターは地域の中核を担う施設で、多くの利用者が訪れることから、利用に支障が出ないようにしなければならず妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 不備箇所を補修することにより、災害時の避難や施設使用時に、安全性・利便性が保たれ、誰もが安心して利用することができる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 補修を行った結果、より多くの人が利用する可能性はある。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 入札で業者を選定し必要最低限のコストで行っているため削減は難しい。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	補修工事が終了したため。
------------	----------------------	--------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）